

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6 年 3 月 27 日

事業所名 児童発達支援センターはぐはぐ子ども村西都

保護者様等数(児童数) 35名

回収数 32名

割合 91 %

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	31	0	0	1		活動や園庭のスペースは十分である。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	28	0	0	4		常に職員数や専門性は適切である。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	30	0	0	2	防災・防犯に配慮されつつ子どもが集中しやすい環境だと思う。	絵やカード等を使用し、利用者にわかりやすく個々に合わせた環境設定をしている。療育室やサーキット室を分けることで気持ちの切り替えや期待を持って活動ができるようにしている。女子トイレでは便器も大中小と児に合った利用が出来トイレトレーニングも役立っている。車いす対応もある。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	27	1	0	4	・建物の古さを感じますが、活動に合わせて部屋を変えたり気持ちの切り替えができる工夫がされています。 ・少し明かりが暗い気もします。 ・清掃のチェックリストや頻度など清潔と客観的にわかるもの、資料を見たことがない。 ・広いので動きやすく写真なども貼ってあり理解しやすいと思う。	毎日換気や空気清浄機を使い、手に触れる物等は消毒をして衛生管理をしている。 照明設備の更新を予定している。。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者様のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	32	0	0	0	・とても丁寧にしていただいています。 ・面談時など娘の様子を見発管がパッと答えてくれるためそう感じる。	各療法士のカンファレンスの情報や療育後の支援者間の情報共有及びケース会議などの検討の結果を計画に反映している。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	30	0	0	2	・目標の根拠判断の仕方など本人に合わせていることが文章でも伝わる。	保護者様との面談で行うアセスメントの情報から短期・長期目標及びその到達目標を汰制するために具体的な支援方法を個別支援計画に記載している。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	30	0	0	2	・主観としては「はい」だが根拠となる客観性のある資料をまだ見えていないため	全職員で個々の支援計画を把握し、計画に沿った支援を行っているか定期的なケース会議で見発管と共に検討している。
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	27	1	0	4	・利用回数時期ともに浅いためどんな変化があったか等の連絡をまだもらっていない。	個々の状態や特性に応じて理学療法士や作業療法士のアドバイスを基に柔軟に対応した活動を取り入れている。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	23	2	0	7		保育園、認定こども園、幼稚園との併用通園であるため直接的ではないが交流する機会はある。
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	31	1	0	0		契約時に、わかりやすく丁寧な説明をするよう心がけている。。
保護者様への説明等	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	30	0	0	2	・私自身が福祉サービス提供者の為知識のない状態で理解できたと判断しかねるため。	ガイドラインのねらいや支援内容も保護者様に理解されるよう分かりやすく説明を心がけているが保護者様との相互理解の確認を怠らないようにする。
	12 保護者様に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	26	3	1	2	・いつでも相談はできる。 ・家では常にどこかに登っているので声掛けはしているが対応がなかなか難しい。	ペアレントトレーニングは未就学児、就学児対象におこなっており全保護者様に案内を出しているが、日程的に参加が難しい保護者様もおられるため、開催日程の見直しを行う。
	13 日頃から子どもの状況を保護者様と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていくか	25	6	1	0	・ケガ等の連絡を細かにしてくださっています。 ・面談の時に初めて知る情報があったため	利用などのやり取りで理解を得ていると考えるが、う。連絡の方法も工夫していきたい。
	14 定期的に、保護者様に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	28	3	1	0	相談をした際にすぐに面談日を決めて下さり、悩んでいることに対してアドバイスを下さったり安心して翌日から過ごすことが出来ました。	発達と言葉の相談室という相談窓口を設置しており。育児に関する事や困りごと等相談を受ける際にははがる際には迅速対応している。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者様会等の開催等により保護者様同士の連携が支援されているか	11	6	7	8	・コロナ禍だったこともあり保護者様間の交流は難しかったです。 ・コロナの為仕方ないと思います。 ・参加する機会がこれまでなかったのでわかりません。 ・コロナでしたので致し方ないとは思いますが就学まで他の保護者様の方とつながる機会がなかったのは今後の不安になっています。放課後等デイサービス事業をなくすと言うお話を伺ったときに各自で探そうと言われていました。事業所一覧を示すなり相談窓口を設けるなりして欲しかったです。(放課後等デイサービス事業がなくなるのは貴事業所の方針でのことでしたので先が不安になりました。) ・コロナ禍だったため交流は控えられていたと思います。	今年は全利用者保護者様参加のお祭りを開催する予定だったが、コロナの感染状況によりやむなく自粛をした。保護者様交流の連携という観点には今後検討していきたい。

保護者様への説明等	16	子どもや保護者様からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者様に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	27	2	0	3	・施設利用児の見学や相談事にも親身に対応して下さいます。	相談の申し込みは、電話や面接等で対応しているが、今後は、相談できる窓口の周知を強化してもっと気軽に相談できる環境をつくっていく。
	17	子どもや保護者様との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	26	2	1	3	・子どもから今日は高鍋の方に行った等聞くことができました。地震の時など親の行動判断がつかないのではと思います。ここに関しては以前からの不安事項です。保育園では逐一事前連絡が来るので落差を感じます。	保護者様からの問い合わせ等には対応しているが、こちらからの発信、メッセージを増やしていくよう改善していく。また園外に出る場合の事前連絡も細かく入れていきたい。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者様に対して発信されているか	26	0	1	5	・写真付きのお便りで日々のトレーニング以外の活動の様子が知れて良いです。 ・会報は頂いています。	毎月、写真入りの「おたより」を発行し、活動の様子や連絡事項、防災訓練の様子など発信している。自己評価の結果もホームページにて配信している。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	31	1	0	0		個人情報の取り扱いについて、職員に徹底して注意させている。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者様に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	23	5	0	4		いろいろな発生を想定した訓練は実施している。保護者様には緊急時の避難場所等プリントにて周知しているが、もっと詳しい説明が必要だと思われるので改善する。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	25	1	0	6	・子どもに確認したら実施しているとのことでした。 ・子どもから「こういうことをしたよ」と教えてもらいました。 ・もし津波が来たとなった場合どこに避難するのか。	年間計画にて地震、洪水、火災等を想定した避難訓練を毎月行っている。非常時の水や非常食等しっかりと備えていきたい。 避難方法等具体的な内容の報告をしていく。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	28	3	1	0	固定利用になったため自分でリュックを玄関に運ぶ仕草が増えました。 ・とても楽しみにしています。色々とその日のあったことを話してくれます。 ・「はぐはぐさん行きたくないんだよね～」と言いますが行く日を伝えると「分かった」とは言ってくれるし園の先生からも笑顔で帰ってくると聞いているので嫌ではないと思います。 ・慣れるまでは大変でしたが施設で覚えてきた内容を家庭で話してくれたり自ら「行きたい」と言ってくれるようになり子どもの成長を感じています。 ・保育園の方でも「ニコニコして帰って来た」と言われたので本人も楽しく通えていると思う。	保育園等に登園し、遊んでいる状況で当事業所からの迎えがいくため、児によっては切り替えが出来ず不安定になることがあるが、送迎車のなかで気分が変わり、事業所での活動は楽しめている。また利用者が楽しく安心して通えるよう環境作りや活動内容の工夫をしている。
	23	事業所の支援に満足しているか	30	1	0	1	・できなかったことが出来たり本人が楽しかったと伝えてくれるのは成長が見え手嬉しいですが、もう少し日頃の様子がわかると嬉しいです。 ・連絡体制のみです。後は本当に感謝申し上げます。 ・通所を始めて色々な面で挑戦する姿が見られるようになりました。 ・どんな様子だったか、どんな事をして何が出来た等少しずつ成長を感じれて支援にとっても満足しています。	計画に沿った支援が行われているか、支援の方法はこれでいいのか、常に検討・見直しが必要と思っており、利用者にあった無理のない計画であり利用者さんが目標達成感を持ち楽しく過ごせるようにしていく。

\*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

\*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせる実施されることが想定されている。

\*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。